

みなみそうま



# 市議会だより

令和7年  
5月1日発行

Vol.77

発行：南相馬市議会 編集：広報特別委員会 ☎24-5311

## 【目次】

常任委員会広聴	2頁
3月定例会議案とその結果	3～5頁
請願、陳情、委員会・議員提出議案	5～6頁
令和6年度一般会計補正予算の概要	6頁
賛否が分かれた議案	7～10頁
会派構成	10頁
議会への意見とその回答	10頁
一般質問	11～18頁
個人情報保護制度による公開等実施状況	18頁
常任委員会閉会中調査・ 3ヶ月間の議会活動	19頁
次回定例会の日程・議会傍聴記・編集後記	20頁

5月中旬が見ごろの横田のバラ園  
(小高区)

# 相馬郡医師会と

# 文教福祉常任委員会との意見交換会

2月18日



## 文教福祉常任委員会

事務局：普里 里織様  
 医師：今村 秀嗣様  
 医師：三澤 幸辰様  
 医師：遠藤 清次様  
 医師：半谷 克行様  
 医師：新道 讓二様（医師会会長）  
 医師：小泉 祐功様  
 医師：石原 開様  
 医師：樋口 利行様

### テーマ：地域医療の現状と課題について

#### ○相馬郡医師会とは

133人の医師会員が所属し、57診療所、8病院で地域の医療を担っている。日常診療に加え、休日夜間診療、救急医療、検診事業、予防接種、学校保健、産業医活動、介護保険事業への医師の派遣など多岐にわたっている。

**問** 経営者の高齢化や後継者不足、コロナ禍以降の減収など、診療所の状況は。  
**答** コロナ禍には補助金に加えて診療報酬が高かったのですが、ある程度余裕がありました。マスクやフェイスシールド等の个人防护具も支援をいただきました。ただコロナ禍が終わった後も装着は必要で支出は続いています。さらに診療報酬改定で締め付けが厳しくなっており、保険点数はどんどん下がっている。

加えて医療機械の購入やメンテナンスに高額な出費を強いられています。  
**答** 私はもう75歳になりまして。やれても5年かなと。私は後継者がいませんし、後継者がいない先生の方が多いかもかもしれません。それと電子カルテの全施設導入が2030年にあります。5年後に電子カルテにしろと言われてもちよっと無理だなと。そういうことでも辞めざるを得ないと思ったりします。

**答** 年を重ねてあと何年継続できるかとなると、スタッフの雇い入れも躊躇してしまいます。  
**答** 看護師を募集しても開業医にはなかなかやってこない。市全体で考えていかないと、この地域の医療を回復させていくのは難しいと思っております。  
**答** 胃がん検診、乳がん検診を医師会で請け負っていますが、今お話された3人の先生が中心です。先生の年齢を聞かれたと思いますけど、検診がかなり厳しい。

**答** レントゲン1つとっても、画像解析装置、蓄積する装置、各部署で画像を見られる装置があります。その装置が非常に高価。地域を支える大きな装置を持った先生には支援があつて欲しいと思う。  
**答** 余力のあるうちに継承者を探そうとしています。設備投資に二の足を踏むところがあります。自分がそのままやっていくから、今のままでやっていくとか。継承できる人が現れれば、設備投資をしなくちゃいけないとか。



# 令和7年 3月定例会

3月定例会が2月26日(水)から3月26日(水)までの29日間開催され、条例18件、予算関係24件、人事関係20件、その他9件の議案71件及び報告1件を審議し、原案通り可決した。

## 令和7年度 南相馬市一般会計当初予算の規模

# 546億7,810万円

前年度比 + 110億円 (+ 25.0%)

予算規模

通常事業  
**335億円**

前年度比 + 5億円 (+ 1.3%)

震災関連事業  
(東日本大震災対策費・  
原子力災害対策費など)

**211億円**

前年度比 + 105億円 (+ 99.1%)

財源構成

財政調整・減債基金繰入金 <b>17億円</b> (前年度比 +5億円)	市税、 (復興特交を除く)税外収入など <b>200億円</b> (前年度比 +5億円)	震災復興特別交付税 (市税減収など) <b>6億円</b> (前年度比 ▲1億円)	みらいへつなぐ 復興基金繰入金 <b>5億円</b> (前年度比 +0億円)	みらいへつなぐ 復興基金繰入金 <b>107億円</b> (前年度比 +5億円)	国県補助金、各種基金繰入金、 起債、使用料など <b>4億円</b> (前年度比 +4億円)	財政調整基金 繰入金 <b>3億円</b> (前年度比 +0億円)	みらいへつなぐ 復興基金繰入金 <b>3億円</b> (前年度比 +0億円)	みらい夢基金繰入金 <b>5億円</b> (前年度比 +0億円)	復旧・復興基金、 みらい夢基金繰入金 <b>60億円</b> (前年度比 +29億円)	震災復興特別交付税 <b>139億円</b> (前年度比 +72億円)	国県補助金、帰還・移住等 環境整備交付基金繰入金、 起債、使用料など <b>139億円</b> (前年度比 +72億円)
--	---	--	---	---	---	--	---	--	--	---	--

## 予算審査

### 一般会計

### 歳出

鹿島駅駅舎活用施設整備  
計画策定事業  
267万円

#### 【事業内容】

鹿島区民にとって「まちの顔」と言えるJR鹿島駅の駅舎の規模を維持し利用者である高校生等の居場所を確保するとともに、鹿島駅周辺の市街地の賑わいを取り戻すため、現駅舎を利用した施設の整備計画を策定する。

#### 質疑

駅舎本体に手をつけない計画なのか伺う。

#### 答弁

鹿島区民の声を確認したところ、駅舎は非常に思い入れの強い施設である。また、市街地が衰退していく中で、新しい人の流れを生む拠点として整備が必要であり、市が整備することにした。

#### 質疑

計画策定後の事業の実施をどのように進めて

いくのか伺う。

#### 答弁

令和7年度は、市民の意見を集約しながら活用方法を検討し、整備計画としてまとめ、令和8年度に設計を行い、早ければ、令和9年度から工事に着手し、令和10年度に新たな施設の供用開始を目指している。

シルバー人材センター運営  
費補助金 1千243万円

#### 【事業内容】

高齢者の就労の促進を図るとともに、生きがいづくりと福祉の増進に寄与するため、高齢者の技術を活用し、臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務に係る就業機会を提供するシルバー人材センターに対し、補助金を交付する。

#### 質疑

614名の会員がいる中で、日々活動されている方は何人くらいいるのか伺う。

#### 答弁

6割程度が実際に稼働しており、草刈りや家事のお手伝いなど、得意とする分野で活動頂いてい

る。  
**質 疑** 市でもシルバー人材センターに頼んでいる作業が多いが、運営がうまくいくよう、調整について伺う。

**答 弁** シルバー人材センターは市から多数の委託事業を受けており、運営の中でも大きなウェイトを占めているが、これ以上の委託は難しい状況と聞いています。

多くの方に参加いただき受皿を強化し、安定した運営ができるよう継続的に話し合いながら、検討していきたい。

**園芸作物集出荷団地整備事業について**

41億7千515万円

**【事業内容】**

農業者の労力的、時間的負担の軽減や、地元農産物の鮮度保持による価値の向上等を図るため、集出荷貯蔵施設、卸売市場、農産物加工施設を整備する。

**質 疑** 原町中央青果市場に出荷している方の声を聞

いて計画を立てているが、現在の生産者の高齢化、後継者不足が進むと計画の信憑性も疑問になる。市外も含め新たな生産者、利用者増の考えを伺う。

**答 弁** 本事業は、福島再生加速化交付金制度を利用しており、制度の趣旨として被災農家の支援が大前提で、新規就農者の加入など架空の人物を算出することはできない。

**質 疑** 現在の出荷者数及び減少した場合の補充について伺う。

**答 弁** 170名程度であり、新規就農者の活用を促し、170人に縛られず、収支計画以上の成果を残していきたい。

審査の結果、原案の通り可決。

条例審査

南相馬市認知症と共に歩み笑顔で支え合うまち条例制定について

**【主な内容】**

認知症を知り、備え、認

知症と共に生きる意識を高め、認知症になっても安心して笑顔で支え合いながら暮らせる共生社会を目指すもの。

**質 疑** 条例をどういう手順で市民に対して周知し、責務まで自覚してもらおうのか伺う。

**答 弁** 認知症サポーター養成講座で普及を図って行く。認知症の知識のある人が増えて来れば「隣のおじいさん、ちょっと前と行動が変わったな」とか、少しの変化にも気付くことが出来る。気付いた事を地域包括支援センターや市に早く、相談頂ける。その体制づくりを含めて条例にうたっている。

**質 疑** 2040年には南相馬市で、有病数が3千人とあるがすでに現在3千人なのではないか伺う。

**答 弁** 国の研究調査の有病率を掛けると令和7年は2千811人となっている。審査の結果、原案の通り可決

その他

工事請負契約の締結について 4件

**質 疑** 工事請負契約全般について、昨今の物価高騰等で契約変更となる場合、基準があるのか伺う。

**答 弁** 工事変更の際には、変更となるか、ならないかを協議し、変更となる内容が客観的かつ的確なのかなど、現場の状況を踏まえながら工事の施工において真に必要などうかを含め、適正に判断している。

また、変更にかかる数量計算においては、条件を満たす規格内容などが適正なのかについても審査確認した上で、容易に変更を行うものでなく、予算執行の側面を意識しながら、工事の品質を確保し適切に対応して行く。

いずれも審査の結果、原案の通り可決。

財産の処分について

**【主な内容】**

原町区信田沢の市有地を工場用地として、大阪市・アソー(株)に売却するもの。

**質 疑** 売却単価について、及び不動産鑑定で算出した金額なのか伺う。

**答 弁** 1平方メートル当たり9千400円で、不動産鑑定評価後、令和6年11月に財産価格審議会で諮問した結果で設定した。

**質 疑** 信田沢工業団地の以前の売却単価と、残りの区画数について伺う。

**答 弁** 直近の令和5年度での売却実績は、1平方メートル当たり9千300円で、区画は今回の売却で完売である。

審査の結果、原案の通り可決。

人事関係

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

鈴木

久(鹿島区 新任)

審査の結果、原案の通り  
同意。

農業委員会の委員の任命に  
つき同意を求めるところにつ  
いて

荒	利敬(原町区 新任)	井上	純子(原町区 新任)	遠藤	一郎(原町区 新任)	鎌田	宣義(原町区 新任)	清信	眞一(原町区 新任)	桑折	一洋(鹿島区 新任)	今野	秀幸(鹿島区 新任)	今野	由喜(小高区 再任)	杉本	正宏(小高区 新任)	塚野	邦好(原町区 再任)	西山	健司(原町区 新任)	根本	剛実(小高区 新任)	濱田	賢次(原町区 新任)	濱名	弘幸(鹿島区 再任)	早瀬川	秀一(鹿島区 新任)	半谷	眞知子(原町区 再任)	前田	一郎(原町区 新任)	水谷	隆(小高区 新任)	横山	仁(原町区 新任)
---	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	-----	------------	----	-------------	----	------------	----	-----------	----	-----------

審査の結果、原案の通り  
同意。

## 請願

令和6年請願 第5号

最低賃金法の改正と中小  
企業支援の拡充を求める意  
見書の提出を求める請願書

### 【請願内容】

最低賃金法を全国一律制  
度に改正し、直ちに1千500  
円以上を実現すること、中  
小企業・小規模事業所への  
支援を拡充・強化すること  
を求めるもの。

### 【請願者氏名】

相双地方労働組合総連合  
議長 大友 浩介  
審査の結果、不採択。

○請願 第1号

福島県最低賃金の引き上  
げと早期発効を求める意見  
書提出請願書

### 【請願内容】

低賃金・長時間労働など  
問題を解消し、福島県の人  
口流出抑制策となる最低賃  
金の引き上げと早期発効が  
重要な政策であることから  
早期発効を求めるもの。

### 【請願者氏名】

日本労働組合総連合会福  
島県連合会原町地区連合  
議長 野本 侑希  
審査の結果、採択。

○請願 第2号

国に対し「選択的夫婦別  
姓制度の導入を求める意見  
書」提出の請願について

### 【請願内容】

夫婦別姓での婚姻が認め  
られないため、望まぬ改姓、  
事実婚、通称使用などによ  
る不利益・不都合を強いら  
れる人が多数存在すること  
から、選択的夫婦別姓制度  
の導入についての検討を早  
期に求めるもの。

【請願者氏名】

新日本婦人の会 南相馬  
支部  
支部長 荒木 千恵子  
審査の結果、継続審査。

○請願 第3号

国に対し「女性差別撤廃  
条約選択議定書のすみやか  
な批准を求める意見書」提  
出の請願について

### 【請願内容】

選択議定書の批准は、個  
人に救済の道を開くにとど  
まらず、司法、立法、行政  
の場で女性差別撤廃条約を  
活かして具体的に差別撤廃  
をすすめる力になることか  
ら女性差別撤廃条約選択議  
定書のすみやかな批准を求  
めるもの。

【請願者氏名】

新日本婦人の会 南相馬  
支部  
支部長 荒木 千恵子  
審査の結果、採択。

## 陳情

○陳情 第1号

難病患者のノーマライ  
ゼーションを実現するため  
の陳情について

### 【陳情内容】

南相馬市の障がい福祉計  
画の基本理念である「誰も  
が健康で安心して暮らすこ  
とができるまちづくり」を  
実現するために、難病患者  
にとっても生きやすいサー  
ビスや支援の提供を求める  
もの。

### 【陳情者氏名】

米倉 一磨、帆加利 祐果  
審査の結果、採択。

○陳情 第2号

難病患者のノーマライ  
ゼーション実現に向けた意  
見書提出の陳情について

### 【陳情内容】

南相馬市の障がい福祉計  
画の基本理念である「誰も  
が健康で安心して暮らすこ  
とができるまちづくり」を  
実現するために、難病患者  
にとっても生きやすいサー  
ビスや支援の提供を求め意  
見書の提出を求めるもの。

【陳情者氏名】

米倉 一磨、帆加利 祐果  
審査の結果、採択。

## 委員会提出議案

○委員会提出議案 第1号

南相馬市議会の個人情報報  
の保護に関する条例の一部を  
改正する条例制定について

### 【提案内容】

行政手続きにおける特定  
の個人を識別するための番

号の利用等に関する法律の一部改正及び刑法等の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの。

【提出委員会】

議会運営委員会

審査の結果、原案の通り可決。

○委員会提出議案 第2号  
難病患者のノーマライゼーションを実現するための意見書の提出について

【提案内容】

陳情第2号が採択されたことから、南相馬市議会として国会及び国に対して意見書を提出するもの。

【提出委員会】

文教福祉常任委員会

審査の結果、原案の通り可決。

○委員会提出議案 第3号  
福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書の提出について

【提案内容】

請願第1号が採択されたことから、南相馬市議会と

して国に対して意見書を提出するもの。

【提出委員会】

建設経済常任委員会

審査の結果、原案の通り可決。

議員提出議案

○議員提出議案 第1号  
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について

【提案内容】

請願第3号が採択されたことから、南相馬市議会として国に対して意見書を提出するもの。

【提出議員】

田中京子議員

審査の結果、原案の通り可決。

令和6年度 一般会計補正予算の概要

12月議会以降、令和6年度一般会計予算について2度の補正予算が組まれた。

令和7年1月補正予算

国の総合経済対策を受けて、原油価格・物価高騰等に対応する取組など、緊急な対応として1月29日（水）に臨時会が開催された。

一般会計補正予算額 **2億8,898万円**

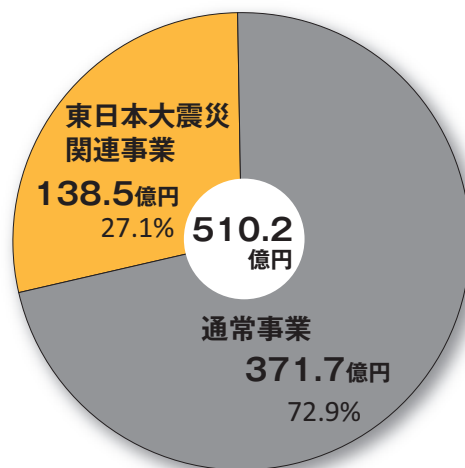
令和7年3月補正予算

国の総合経済対策を受けて、原油価格・物価高騰等に対応する取組など、緊急に対応すべき予算、事業計画の見直しに伴う事業費の調整など事業の進捗に基づく予算の整理として補正増額した。

一般会計補正予算額 **4億8,568万円**

令和6年度一般会計予算規模

**510億1,478万円**



# 令和7年3月定例会で賛否が分かれた議案

議案第32号 令和7年度南相馬市一般会計予算に対する修正案



提出者  
櫻井勝延 議員

計上になることからこの債務負担行為を削除する修正案を提出する。

〔提出理由〕

市長の任期が令和7年度途中までしかないのに令和8年度から10年間に渡る照明器具リース事業について、契約していないにもかかわらず提案することは驕りであること。議員が議決をしなければ10年間、義務的に予算

## 修正案反対



細田 廣 議員

照明器具更新事業は長期に渡ることであり、リース事業であれば工事費込みで有利であると判断できる。

又、債務負担行為による事業は契約締結年度毎に義務費として支出する責任は発生するが、支出が不利になることはないかと捉える事が出来ることから、この4施設のリース事業は妥当であることから修正案に反対する。

## 修正案賛成



渡部 一夫 議員

私は問題提起をしている。それは、債務負担行為が有利ということから端を発している。

市民の皆さんや議員の手から離れてしまうことに加えて、見積もりを比べ有利であれば、全てが良いということになるのか。一度取り下げ再提出しても間に合う時期と考えることから、修正案に賛成する。

## 修正案反対



岡崎 義典 議員

総合計画の基本構想は計画期間が8年であるように、条例や計画、制度などによって一定程度の方向付けの中で進むのが行政の継続性。市長や議員の任期内で収まるものばかりではない。10年リースの後に無償譲渡されることや、費用負担が大きく軽減されることから妥当であり、修正案に反対し原案に賛成する。

## 原案反対



郡 俊彦 議員

「新市建設計画」見直しで地域協議会の取り組みを重視すること、などについては評価する。

反対理由第1は、予算案全体のバランスと将来への計画性。日の当たる所優先で、百年のまちづくりであるマスタープランと自治区のまちづくりへの投資が、小高区の震災関連事業を除いて見当たらないこと等から反対。

## 原案賛成



中川 庄一 議員

まちづくりの基本姿勢に基づき、創造的復興を成し遂げるため、鹿島駅

舎の活用や小高区での複合型園芸施設の整備、高見町公園周辺の再開発や宇宙関連産業の集積など思い切った取り組みにも挑むものであり、取り組み一つ一つが先の世代が住むまちの礎となる事業予算となっていることから原案に賛成する。

## 修正案反対



志賀 稔宗 議員

中央図書館等の照明器具更新をリース事業で実施するため、10年間の債務負担行為を議決することは億単位の経費節約となり極めて妥当。長期継続契約の観点からも問題はなく合法的な運用である。

公共施設の設備更新であり、行政の継続性の観点からみても市長の任期に左右されるものではなく修正案に反対する。

賛否が分かれた議案

議案第33号 令和7年度南相馬市国民健康保険特別会計予算について

【議案の主な内容】

生活習慣病を予防するため、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査の実施や、特定健診受診率向上のため個人負担金の無料化と受診勧奨等を行うために歳入歳出予算総額をそれぞれ78億3千427万7千円とするもの。

反対



郡 俊彦 議員

問題は、3億1千100万円の基金からの繰入です。この基金の原資は平成29年度までの5年間で積み立てた18・9億円で、「国保会計単年度主義」にあり得ない積立です。単年度主義を守っていれば減税に回り、30km圏外の差別に悩まされていた納税者の負担軽減になっていました。つかい方の再検討を求めます。

賛成



岡崎 義典 議員

郡議員は、今ある基金をすべて30km圏外の方々につかうべきという主張かもしれないが、基金の主な原資である特別調整交付金は、平成30年度以降は案分率を据え置く形で負担軽減に活用されている上、広域化によって生じる国保税の激変緩和措置に活用されることが妥当と考えることから原案に賛成する。

賛成



渡部 一夫 議員

この間政務調査を基に、議案質疑や一般質問等を行い、実態の解明を図ってきており、今議会（3月）での一般質問の中で、案分率の求め方を提言し、市長答弁ではそのことを含め取り組んでいる旨の発言があった。このことを踏まえ6月議会での本予算において、一定の整理を図ることを前提に賛成する。

採択



郡 俊彦 議員

地方の人口流出をとめるには、賃金の格差を解消する必要がある。「全国一律1千500円では地方がやっていけない」との議論では、地方はいつまでもこのままです。企業献金出来ない地方の中小企業への支援を求めざるべきです。地方の小零細企業が最低賃金を引き上げられる政策への転換が必要です。

不採択



田中 京子 議員

最低賃金法を改正し全国一律制度で、直ちに最低賃金1千500円以上を求めている内容であります。現実には、コスト上昇が中小企業や小規模事業者には、深刻な人手不足の中でもあり、死活問題ともなりかねないと考えます。時期尚早のことから不採択であります。

令和6年請願第5号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める請願書について

【請願の主な内容】

最低賃金法を全国一律制度に改正し、直ちに1千500円以上の最低賃金を実現するとともに、最低賃金の引上げと経営が継続できるように中小企業・小規模事業者への支援策を拡充・強化を求め、国に意見書を提出するよう請願するもの。

請願第3号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願

【請願の主な内容】

女性があらゆる分野でいかなる形態の差別も受けない権利と平等の権利を保障している女性差別撤廃条約の実効性を強化する選択議定書への速やかな批准を求める意見書を国会と政府に提出するように請願するもの。

不採択



太田 淳一 議員

1985年女性差別撤廃条約締結後、男女雇用機会均等法やストーカー規制法などの法整備や、内閣府に男女共同参画局を設置するなど、国を挙げて男女共同参画社会を実現すべく取り組んでいる。外圧をもってでしか解決できない女性差別が存在していない中、敢えて選択議定書を批准する必要が認められず反対。

採択



岡崎 義典 議員

日本は女性差別撤廃条約締結後、多くの国内法を整備してきたが、賃金格差、政治分野における女性の少なさ、セクシュアルハラスメントや性暴力などは、依然として深刻な課題で、法整備だけでは解決できない根深いものがある。日本の女性の人権侵害の救済と人権の保障をより強化する必要がある。採択すべき。

議員提出議案第1号 国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」の提出について

【提出理由】

請願第3号の採択を受け、日本の女性の権利、ジェンダー平等を国際基準に引き上げるため女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を国及び国会に要望するもの。

反対



太田 淳一 議員

日本は女性差別撤廃条約を留保事項がない形で批准し、条約批准後約40年にわたり女性差別を無くす取り組みを国全体で行っていること。加えて、個人通報制度を用いて外圧をもってでしか解決できないような女性差別問題が無いなど、あえて女性差別撤廃条約選択議定書を批准する必要性が無いことから反対。

賛成



岡崎 義典 議員

請願第3号の賛成討論と同じ理由で、選択議定書を批准することによって、日本の女性の人権侵害の救済と人権の保障をより強化する必要がある。本議案については賛成する。

賛成



郡 俊彦 議員

芸能事務所関連での性被害問題が大きく報道されるなど、日本は被害女性が泣き寝入りとなる現状が多く深刻である。訴え出た女性が、逆に非難される目に合う二重被害も後を絶たない。被害者保護のために「個人通報制度」と「調査制度」等の実現が急務です。選択議定書の早期批准を求め賛成。

賛否が分かれた議案

令和7年3月定例会で賛否が分かれた審査

議案	議員名		議決結果	改革クラブ					尚友会				友和会				志政会		市民クラブ		無会派		無会派	
	議員提出	予算		田中京子	鈴木眞正	竹野光雄	小川尚一	渡部一夫	大岩常男	山田雅彦	細田廣	平田武	太田淳一	大場裕朗	菊地洋一	中川庄一	今村裕	田中正	鈴木昌一	岡崎義典	表信司	櫻井勝延	郡俊彦	渡部寛一
3月定例会	議員提出	議案第32号修正案	否	×	○	×	○	○	×	欠	×	×	×	×	×	×	議	×	○	○	○	×	×	
	市長提出	議案第32号	可	○	×	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	×	×	○	○
		議案第33号	可	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	○
	請願	令和6年請願第5号	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	議	×	○	○	○	○	×
		請願第3号	可	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×
	議員提出	意見書	議員提出議案第1号	可	○	○	○	○	○	欠	×	○	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	×

○ 議決結果欄の意味はそれぞれ次のとおり 可 可決 否 否決 議 継続審査  
 ○ 採決の結果欄の意味はそれぞれ次のとおり ○ 賛成 × 反対 議 議長 欠 欠席 退 退席  
 ※この表は、採決を行った令和7年3月26日現在の会派構成で表記しています。

南相馬市議会議会派構成 (令和7年4月1日現在)

No	会派名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
1	尚友会 7人	代表 田中 一正	会計 太田 淳一	平田 武	細田 廣	今村 裕	山田 雅彦	大岩 常男
2	改革クラブ 5人	代表 渡部 一夫	事務局長 小川 尚一	会計 竹野 光雄	幹事 鈴木 眞正	幹事 田中 京子		
3	志政会 2人	代表 岡崎 義典	鈴木 昌一					
4	市民クラブ 2人	代表 櫻井 勝延	事務局長 表 信司					
5	誠心会 2人	会長 菊地 洋一	会計 中川 庄一					
6	無会派 1人	大場 裕朗						
7	無会派 1人	郡 俊彦						
8	無会派 1人 (公明党南相馬市議団)	志賀 稔宗						
9	無会派 1人	渡部 寛一						

合計 22人 ※同数会派は五十音順

賛否が分かれた議案 南相馬市議会議会派構成 議会への意見と回答

議会への意見と回答

【市議会に対する意見】

〔原町区 30代男性〕

現状、求める人にしか情報が行き渡っていない。アーカイブについても見られないものがある。YouTubeに残すなど情報公開のあり方を検討いただきたい。

【回答】

市議会では、市議会のスケジュールや議決結果などの情報を、市議会だよりと市議会ウェブサイトを提供しています。

動画については、市議会ウェブサイト上の「議会中継」ページにて、リアルタイム中継および令和3年12月以降の録画映像を視聴できます。また、「会議録検索システム」では、平成6年以降の議会の会議録を公開しており、以下のQRコードからアクセスできます。

情報公開のあり方については、より多くの方に分かりやすい情報をお届けできるように、引き続き検討を進めてまいります。お気付きの点がございますしたら、ぜひ情報をお寄せください。



# 一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



今村 裕 議員

下水道管の総点検

**問** 八潮市で発生した道路の陥没事故を受け、まずは本市の現況について伺う。

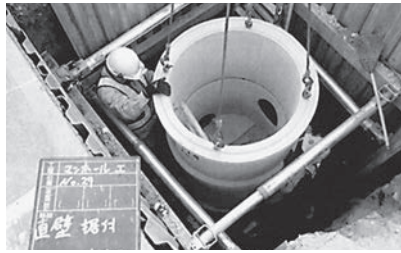
**答** 本市の下水道管の総延長は約252kmで、布設後50年を経過しているのは13・5kmとなっている。市では、下水道施設管理指針に基づき、路面状態やマンホール内部を目視により異常がないか確認している。

**問** 下水道管の維持管理や老朽化対策は喫緊の課題だが、中長期的な点検や更新計画を作成し対応すべきと思うことから見解を伺う。

備えあれば憂いなし  
の市政執行を！



**答** 今後も適正な維持管理に努めると共に、老朽化した下水道管については、国からの補助を受けながら計画的に更新事業を進めていく。



計画的に更新される下水道管

子どものネット犯罪防止策

**問** 昨今、インターネットを悪用した犯罪に巻き込まれる事例が後を絶たないが、まずは各学校での指導状況を伺う。

**答** 現在、学級活動や道徳の時間にて、インターネットは便利であると同時に、利用を誤ると危険が及ぶことを、教材を使用しながら指導を行っている。

**問** 専門家による情報モラル教育も必要と思うが如何か。

**答** 今後は、外部機関や警察署等からの講師派遣を依頼するなど、情報モラル教育の充実を図っていく。

生活保護費の増加について



大岩 常男 議員

**問** 生活保護の研究が、生活困窮者支援制度が増減率を算出した結果、南相馬市は106・9%増であり、その要因の分析が必要と考え市の見解を伺う。

**答** 令和7年1月末日時点の保護世帯数は、259世帯301人と増加傾向であり、この要因は、第5次追加補償の賠償金は一時的な収入と見込んでおり、収入の消費や失業等による収入源が要因と捉えている。

**問** 生活保護制度と生活困窮者支援制度の連携した対策について、市の見解を伺う。

**答** ケースワーカーと就労支援員が協力して、就職活動を行う。生活リズムや疾病の改善のため医療機関への受診勧奨の手続と求人に応募等の連携した取り組みを行う。

生活保護世帯から脱却する具体策について

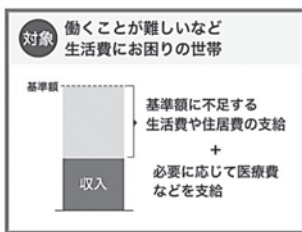
生活保護不正受給を無くそう



私道に防犯灯の設置について

**問** 行き止まりの私道に公道と同様の防犯灯設置は必要と考え、市の見解を伺う。

**答** 行き止まりの私道は、利用者が限定的であり、公共性の観点から現時点で防犯灯を設置する考えはなく、区長へ基準見直しの周知を図り、これまで以上に市民の皆様の安全確保に努める。



生活保護受給要件

その他の質問

- 1 防犯灯設置間隔の改善について
- 2 病院避難の課題提起について
- 3 高松ホームの入居状況について

一般質問

# 一般質問



小川 尚一 議員

## 学校図書館の 充実推進について



**問** 第三次教育振興基本計画の取組方針に、学校図書館及び図書館教育の充実が示され、「学校図書館の質を高め、学校教育活動全般における学校図書館の積極的な活用を推進し、学校司書を増員し、小中学校全校専任を目指す」とある。取り組みについて伺う。

**答** 学校司書の配置については、平成24年度の小学校4校配置から始まり、令和

6年には小学校全11校に専任司書を配置している。中学校6校については、各校とも兼任配置としており、今後、計画的に司書の専任化を進める考えである。

**問** 小・中学校司書配置の充実を計画的に推進する必要性があると思うが、全校に配置すると明記している。再度伺う。

**答** 学校司書を配置して子どもたちの読書活動が進んでいると私も認識してお

り、図書館が変わったと実感している。計画では令和8年度に全校専任配置するというところで、令和8年度に向けて計画的に配置できるように取り組む。

### 国際バカロレアの図書館活用について

**問** 国際バカロレアの取り組みには、学校図書館の充実が重要と考えるが伺う。

**答** 国際バカロレアの取り組みには、学校図書館の充実も重要と捉えている。

### その他の質問

- 1 南相馬市第三次教育振興基本計画
- 2 読み聞かせなどボランティアの活用
- 3 障がい者雇用の推進について



菊地 洋一 議員

## 何気ない景観に人は癒される「生活景」



**問** 何気ない毎日の景色の中に、人は癒される景観があり、その景観は人それぞれによって違う価値観があると考えます。生活景とは、生活の営みが色濃く滲み出た景観であり、日常の生活から醸成されたものである。市は景観についてどう考えるか伺う。

**答** 本市の景観は、山、川、海に囲まれ穏やかな気候の中でゆったり暮らせる環境に恵まれ、都市部にはない自然豊かな風景や相馬野馬追のような歴史的な文化が息づく風景が広がっている。

**問** 生活景を活かしたまちづくりについて、市の考えを伺う。

**答** 本市の都市景観は様々あるが、単立ち応援事業では、地域への愛着を高めることを目的とし、地域の方々と共に、子供たちが慣れ親しんだ場所や風景にこだわりポスター制作をしている。

また、「みんなのフォトライブラリー」を開設し市民から日常の風景等の写真を掲載している。こうした事業を通し、本市の地域資源の掘り起こしを行い、市民にその価値を再認識してもらおうとともに、特に子供たちの本地域に対する愛着



原ノ町駅から観る街並み

### その他の質問

- 1 サマーフェスタ支援について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



平田 武 議員

## 人口減少社会の 対応について



**問** 本市の直近3カ年の出生数786人、死亡者数2千817人となっている。令和22年10月1日時点で政策効果人口4万8千701人と見ているが、直近の状況を踏まえて認識を伺う。

**答** 震災以降の出生数が、大きく減少している。福島県現住人口調査と比較すると令和6年10月1日時点で1千473人が減少、震災と原発事故の影響により他市町村からの避難者が居住している特殊事情があり、正確な人口を把握すること自体に限界がある。

**問** 高齢者の単身世帯について、令和2

年7月末で65才以上の一人暮らしは3千827人、令和5年2月では、4千259人と増加してきている。市としての今後の捉え方について伺う。

**答** 団塊世代の高齢化と核家族化の進展など全国的な傾向と合せ、震災避難からの帰還者の多くが高齢者という要因がある。今後も一人暮らしの増加が想定され、自立困難な状況や介護ニーズなど、社会的孤独を防ぐ取組や地域全体で支え合う取組が必要である。

**問** 消防団員の減少と分団ごとの施設整備や組織の充実は、

**答** 消防団と連携の上、団員が活動し

やすく力を発揮できる体制の充実に努めて行き組織再編の検討、施設の機能集約についても引き続き検討して行く。



南相馬市消防団検閲式

### その他の質問

- 1 空家、空地の対応強化について
- 2 正規職員、非正規職員の格差解消
- 3 農村、町内、学校環境の維持は



櫻井 勝延 議員

## 職員の病気休暇・ 休職等の現状について



**問** 職員の病気休暇等の現状について

**答** 令和6年度2月末までに30日以上有病気休暇取得した職員は52名。精神疾患は44名。更に、休職となった職員は20名で、精神疾患によるものは17名。

### 東日本大震災復旧・復興基金について

**問** 基金残高減少の影響について伺う。

**答** 令和6年度末残高見込みが約7.2億円、令和7年度当初予算における取崩額が約4.8億円、令和7年度末残高見込みが約2.4億円である。

1月の地域包括ケア病棟休止について

**問** 令和6年3月に

経営強化プランで総合病院は、病状が安定した患者に介護施設への転院、地域包括ケア病棟を整備し在宅復帰できる療養環境整備を進めるとしているのに何故1年も経たずして50床休止に至ったのか伺う。

**答** 総合病院は、地域の基幹病院として急性期を診るのが主な役割で、回復期・慢性期は他の病院にという役割分担、機能分化の協議が整ったので、強化プランスタート1年未満だが舵を切った状況で

ある。

**問** なぜ急展開で50床休止に至ったのか伺う。

**答** 御理解賜りたい。これまで総合病院が中心で医療を行うことで、確かに病院間の連携等については具体的な動き等はほとんどなかったと承知している。



南相馬市立総合病院

### その他の質問

- 1 小高診療所の有床化の見通しについて
- 2 総合病院の院長の異動内示について
- 3 川房地区複合園芸施設整備について

## 一般質問

# 一般質問



議員 渡部 一夫

## 相続土地国庫帰属 制度について



**問** 相続しても使用道がない土地を国が引き取る制度が

2023年4月から始まり、2024年7月までに国有化された件数は667にとどまっている。これは法務省の集計だが、本市の取組状況を伺う。

**答** 本制度の活用に当たっては、国庫帰属を考えている土地に建物がないことや債務の担保に供していないことなど、関係法令で定める要件を満たす必要があるほか、申請に係る審査手数料と10年分の土地管理費相当額の負担金を納付する必要がある。

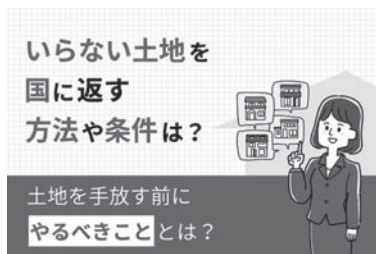
局は、市町村の保有する情報について提供依頼を求めることになる。令和7年2

月18日時点における法務局から本市に対する提供依頼は、令和5年度に原町区1件、小高区1件の2件の依頼があり、それぞれ保有する情報を提供している。

**問** 施行5年後に制度を見直す規定がある。法務省の担当者は運用状況を見ながら検討したいということだが、運用における支障の認識について伺う。

**答** 土地所有権の放棄の在り方、申請、承認申請者の要件、国庫帰属後の土地の利活用の方策その他

の事項を検討し、その結果に基づいて必要な措置を講ずることとなる。



相続土地国庫帰属制度



議員 信司

## 道路の安全は 市民の安全!



**問** 埼玉県八潮市で発生した道路陥没は、下水道管の破損が原因と見られ、当市においても使用開始から50年以上経過している下水道管が13・5kmあるとのことだが、今後の対応について、更新計画等があれば伺う。

**答** まず、市内の下水道管は最大口径で1m程度、こういった箇所での修理などが発生する場合は、仮設の施設を造っての工事となる。更新計画について古いものから実施ということではなく、汚水が滞水するような箇所を集中的に調査・補修対応していく考え

である。  
**問** 下水道管が破損した場合の影響について伺う。

**答** 破損した場合の影響については、市民の生活、排水制限などに関する影響と云うことであれば、破損の規模感、規模の大きい小さいで状況が変わるもので一概にどの範囲とは言えないが、一般的に修理箇所の上部を止めてその箇所を迂回させて排水できるようにした上で工事を行う。これは災害時にも同じ手順で進めることとなっている。破損の程度にもよるが、大規模な排水制限や取水制限などを行うほどの影響が出



下水道工事の様子

### その他の質問

- ① 技能労務職の確保について
- ② 職員の超過勤務時間の偏在について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



議員 俊彦 郡

## 原則に反する 国保税率据え置き



7億円の返還を受

**問** 国保会計は単年度主義で、医療費負担に対する国の交付金などの収入を引き、毎年不足分を計算し課税すると云うことでないのか。

**答** そのとおり単年度主義だが唯一例外を挙げれば、平成30年6月に基金を取り崩すことができるような条例改正を行い運用している。

**問** 平成28年6月定例議会の資料によると、お金が多ったので、計算間違っているんじゃないかと返還した事があり、国から「特別調整交付金は返還を要しない交付金であるため、国として毎年6」

ける交付そのものが適正でなかったことになる」と「返還をしないように」と指示されている。

これは単年度主義で年度ごとに、剰余金は積立てせずに繰り越すなどして納税者の減税に充てるべきお金だったということではないか。

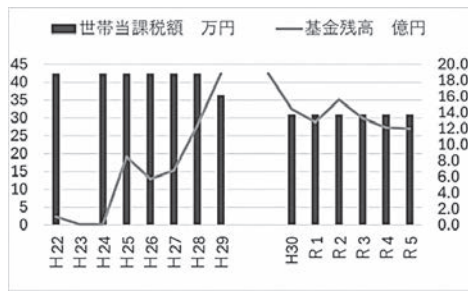
総務省の解説でも「相対的対価関係」で年度毎に、決着を付けるべきものとされているが。

**答** 保険税の案分率は、平成28年度までは前年度の税率を据え置き、29年度は、基金などを充てて資産割を廃止することと併せ、所得割の引

下げを行った。

**問** 現基金条例の変更は、可能でないか。

**答** 可能である。



モデル世帯課税額と基金の推移  
左側が旧基金条例、右側が現在の基金条例

### その他の質問

- 1 合併の理念による自治区の予算枠
- 2 主要事業の財源内訳について
- 3 国際バカロレアの住民への周知は



議員 渡部 寛一

## 小高等の農地保全 どうする



再生をしたと思っ

**問** 強制避難を強いられた小高と原町の一部では、原発事故前の30%しか戻っていない中で、津波被災地と不耕作農地の保全のために草刈り作業隊を組織し、努力してきた。

しかしこのための国の支援は途絶えることになった。このままだと藪、森林になっってしまう。

津波被災地の管理作業は、市の予算でまかなうことにした。一方、農地は所有者が経費を負担して除草等を行う形になる。あきらめ感から、放置されたままになる農地が出るのが予想される。

**答** 復興組合等は重要な役割を担ってきただけで、農村の担い手の高齢化や帰還が十分でないことから、国や県に対して、補助継続を求めている。令和7年度は、市独自予算で維

持継続を図りたい。

**問** 国に復興は終わったなどと言わず、対策強化を求めよ。



小高区蛸沢地区での除草作業

### その他の質問

- 1 下水道管の点検と対策はどうなっているのか
- 2 点検や対策に国に対応する補助を出すことを求めよ

### 一般質問

# 一般質問



大場 裕朗 議員

令和7年度も市民の  
声を行政に届ける!!



固定資産税徴収・公共事業推進・生活環境問題対策のために

**問** 相続登記の義務化・相続土地国庫帰属制度等の各制度を市民へ周知し、固定資産税の課税徴収に努めるべきと考えるが見解を伺う。

**答** 広報みなみそうま・ホームページに掲載しているが、法務局・司法書士会等の関係機関と連携し制度の周知を図る。

**問** 本市は67施設で132筆の契約を締結しており、契約期間・

本市と地権者との土地賃貸借契約(借地契約)更新について

更新期間等が統一されていない。施設個別計画で示す廃止時期・土地契約終了日・施設耐用年数等を考慮し、終期を統一した契約に更新すべきと考えるが見解を伺う。

**答** 未利用財産の処分に有効であり、契約更新のタイミングで地権者の意向を確認し、最適な形態で契約締結に努める。

労働者不足の解消・まちの賑わい創出に

**問** テクノアカデミー浜では入学生の確保に苦慮しているが、卒業後に市内勤務等の要件を付け、授業料・通学費等を支援する考えがある



県立テクノアカデミー浜

か見解を伺う。

**答** 現在も災害被害者や非課税世帯者等への支援制度はあるが、県と調査研究し様々検討する必要があると考える。

その他の質問

- 1 各契約書の電子データ保存の推進を
- 2 産業人材確保に向けた取組みを
- 3 太陽光発電設備の適正な設置指導を



岡崎 義典 議員

医療機関の  
経営支援について



**問** 診療報酬改定や人件費・材料費の高騰、患者数の減少により、市内の医療機関は厳しい状況にある。経営状況への認識は。

**答** 令和6年1月の調査で、医療機器更新への苦慮、患者数の減少、診療報酬減による収益悪化が確認された。また、文教福祉常任委員会で相馬郡医師会との意見交換で、物価高騰や医療機器更新の負担が確認された。

**問** 医師会との意見交換会では2つの要望が出された。一つ目は後継者不足による医業承継支援の必要性。国は「医

師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」で医業承継への支援を始めた。

県は医業承継バンクを開設し、承継した診療所に改装費や医療機器購入の補助をしている。いわき市や伊達市、白河市では、医業承継に補助金を出している。医師会と協議を始めるべきではないか。

**答** 先進自治体を確認し協議を始めた。

**問** 二つ目は医療機器更新の補助拡充。電子カルテによって様々な機器の更新が必要となり、現状の市の補助金では足りないという率直な話があった。医師会との

協議が必要ではないか。

**答** 継続維持のため、見方を変えた支援策の検討は必要。相馬郡医師会や診療所と協議を始めたい。



医師会との意見交換

その他の質問

- 1 生活保護制度について
- 2 地域包括ケア病棟の休止について
- 3 病床機能と病床数の方向性について

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



中川 庄一 議員

相馬野馬追継承について

**問** 相馬野馬追開催が変更されたことで多くの観光客が訪れたが誘客を図るための雲雀ヶ原祭場内での観覧対応について伺う。

**答** 令和7年度も観光客の増加を期待している。令和6年度に新設して好評を得た砂かぶり席を150から180に30席増設、さらに1人1席の特別席を168席用意、又トイレ整備等、環境整備を図っていききたい。

**問** 市内で馬を飼育している方への補助対策について、令和5年度に一定の補助を行ったが1回だけ

相馬野馬追継承が  
100年のまちづくり



での補助制度では飼育者の負担軽減とはなっていない。今後の補助対応について伺う。

裾野を広げていききたい。外部団体で行ってきたものを市が携わっていく。

**答** 馬の飼育については、多大な負担がかかっていると承知している。野馬追継続のためには、負担軽減は極めて重要な課題と考えており、引き続き騎馬会と協議していく。

**問** 相馬野馬追出場騎馬数の確保については、少年騎馬の育成と考えるが支援策を伺う。

**答** 市内の小中学生に馬と触れ合う機会を創出し、相馬野馬追の保存・伝承に向けた子どもたちの意識醸成をすることで



新設した砂かぶり席

その他の質問

- ① セデッテかしま周辺開発について
- ② 航空宇宙産業の取り組みについて
- ③ 児童・生徒の英語力向上について



竹野 光雄 議員

農業の振興策について

について



**問** 収入保険制度は自然災害による減少に加え、価格低下などに収入減少がカバーされる仕組みであり、本市ではブロッコリー、ネギ、タマネギ、キュウリへの一部補助をしているが、今後多品目への補助等も考えるべきではないか伺う。

品目も拡大するべき、団体や個人等を考え、広げていくべきと思うが見解を伺う。

**答** 市が支援する4品目以外については農業者の調査を行い、米を含めた多品目を栽培する農業者の負担軽減に資するよう農業保険事業推進協議会で協議していく考えである。



米価の安定を願う稲作農家

**問** 南相馬市は、米がもともとの主流なのでそういう様な

**問** 鳩原小学校、福浦小学校・幼稚園、おだか保育園等、今後の市の進め方について伺う。

市内の廃校、廃園の利活用について

**答** 民間企業等が廃校等の施設を利活用する際の支援策の構築に取り組んでいるので、制度の利活用を進めていく考えである。

その他の質問

- ① 女性農業者育成について
- ② 防犯カメラの増設について
- ③ 高齢者の交通手段の確保について

一般質問

# 一般質問

タイトル下の QR コードを読み取ると、質問者の動画を視聴できます。



志賀 稔宗 議員

国際化に相應しい  
英語力を培うために



**問** 学校が楽しいと思える環境が学習意欲の前提であり極めて重要である。快適な学級生活について満足度の現状と課題を伺う。

**答** アンケート調査によると学級生活満足度が小学校70%、中学校62%で全ての学年で全国平均を上回っている。しかし、嫌なことをされたり言われたりしている児童生徒や周りから認められる経験が少ない児童生徒がいる課題が見られる。支援が必要な児童生徒に対し適切な対応が図られるよう校長会等を通じて指導している。

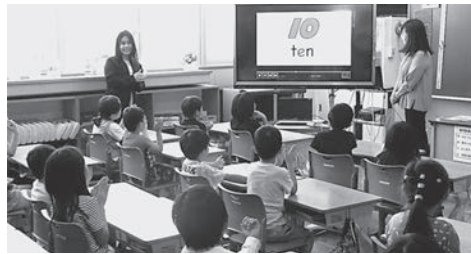
**問** グローバル化の時代に生きる子供たちに基礎学力と同時に英語力が極めて大事だ。英語力向上対策の成果と目標を伺う。

**答** 全小学校でフォニックス学習や多読用洋書の整備、中学校のALT常駐等に取組んでいる。英語検定3級相当以上の英語力を有する中学生割合は5年度31.3%から6年度41.9%と上昇し、県平均35.8%を上回る。

**問** 近年不登校の児童生徒が全国的に増加し由々しき事態だ。未然防止の取組みを伺う。

**答** 他者を尊重する

道徳教育に力を入れている。子どもたちの気になる言動や小さな変化に気づくため教職員や保護者、関係機関が情報共有し取組んでいる。



英語教育の様子

その他の質問

- ① みなタク等の利便性向上について
- ② JRのICカードや特急等利便性向上を
- ③ 公園に健康遊具の設置拡充について

## 個人情報保護制度による公開等実施状況

南相馬市議会の個人情報の保護に関する条例に基づき、令和6年度の開示請求件数を公表します。

開示請求件数…0件

## 南相馬市議会議員の請負状況

南相馬市議会議員の請負の状況の公表に関する条例に基づき、令和6年度の請負状況を公表します。

請負件数…0件

## 議場のヘッドホンをご利用ください

市議会では、聴こえにくい場合にも議会を傍聴いただけるようヘッドホンを設置しています。ぜひご利用ください。



# 常任委員会閉会中調査

## 総務生活常任委員会

南相馬市小高区復興拠点施設（小高交流センター）の状況調査について



小高区復興拠点施設（小高交流センター）は、地域の活性化と賑わい創出、地域コミュニティの再構築を通じて、本市の復興・再生

の実現を目的に平成31年1月に供用を開始した施設で、同施設は、子ども・子育て世代向けや高齢者向け、多世代交流事業を実施しています。

### 旧小高商業高等学校利用可能性調査事業の状況調査について

旧小高商業高等学校の跡地について、スポーツ関連施設や福島国際研究機構（FIREI）の関連施設としての利活用の可能性を調査しています。今後、調査結果を踏まえ、当該施設の利活用の在り方について検討していくこととなります。

## 文教福祉常任委員会

浦尻貝塚史跡公園の状況調査

1月31日、浦尻貝塚史跡縄文の丘公園の視察を行いました。

平成18年に国指定史跡に指定され、平成21年に浦尻貝塚史跡公園整備基本計画を

策定。東日本大震災により事業休止となりましたが、令和5年に貝塚観察館が公開、令和6年にガイダンス棟・公園内看板等展示が完了し全体供用が開始されました。

ガイダンス棟では、過去の津波を示す土層断面、貝塚周辺の土器等の出土状況の剥ぎ取り展示があり、休日には、文化遺産サポーターが説明等に從事しています。



令和6年の来客数について、貝塚観察館（4月～8月）には約2千人、ガイダンス棟（9月～12月）には約1千800人となっています。

## 建設経済常任委員会

南相馬鹿島サービスエリアの状況調査について

鹿島区では現在、「セデッテかしま」周辺対策プロジェクトを進めていることから、南相馬鹿島サービスエリアの状況調査を実施しました。

調査の中では、現在の状況として来客数の増加により、客単価と全体の売りが上がっていること、それに伴い、売り場が足りない、全体的にスペースが足りないことが課題であり、ある程度拡大するなど、周辺整備もさることながら、「セデッテかしま」店内についても充実させる必要があるとのことでした。



12月定例会後から3月定例会までの議会活動について

2月21日	1月31日	1月29日	1月28日	1月24日	1月22日	1月17日	1月15日	令和7年 1月9日
議会運営委員会 (市役所4階 議員控室)	文教福祉常任委員会閉会中調査活動 (浦尻貝塚史跡公園ほか)	臨時会 (市役所4階 議場)	議会運営委員会 (市役所4階 議員控室)	建設経済常任委員会閉会中調査活動 (鹿島サービスエリアほか)	総務生活常任委員会閉会中調査活動 (小高区復興拠点施設ほか)	議会運営委員会 (市役所4階 議員控室)	広報特別委員会 (市役所4階 委員会室)	広報特別委員会 (市役所4階 委員会室)



## 南相馬市議会を傍聴して (原町区/女性)

3月3日、令和7年第2回市議会定例会の一般質問第一日目を傍聴しました。

午後の会議だったのと悪天候のためか傍聴者は4、5人でした。入り口に置かれた記名用紙に記名し、用意されてある小箱に折りたたんで入れました。いつからこのようになったのか少々の違和感を覚えました。(個人情報保護のためか……)

質問件名表、議案要旨、定例会予定表、市議会の仕組みなど、傍聴者へ懇切丁寧な内容の資料がたくさん用意されており、これはなんの準備もなく行っても助かります。

久しぶりの議会傍聴なのでいささかの緊張感を抱きながら議場に入りますと要所要所に大きなモニターが設置されているのが目に入りました。各議員の机にはタブレットがおかれていました。(時代の流れ)を痛感しました。大きなモニターにはその都度質問者、答弁者の表情が映し出されその様子がわかります。ただタブレットを見ている他の議員さん方の様子は傍聴席からは、タブレットを見てうつむいている後ろ姿しか見えないのが残念でした。時々議場全体の様子がわかるような方法を検討してみてもいいのではないのでしょうか。

私は午後から二人目の議員さんの、教育行政についての質問を拝聴しました。現状の理解と、実態を把握してのきめ細かな質問に、教育長、教育委員会事務局長の答弁を拝聴しながら南相馬市の基本目標「100年のまちづくり」は、なんといても「教育環境の充実」が優先にあるとの思いを新たにしました。

この議会だよりを通じて、議会の内容や議員の活動についてお知らせしていますが、広報特別委員会に属する議員が中心となり、編集作業などを行っています。発行の都度、より分かりやすく、より関心を持ってもらえるよう協議を重ねていますが、今後もより良い広報誌となるよう、引き続き努力していきます。

表 信司

## 6月の定例会(予定)

- 6月11日(水)  
本会議…会議録署名議員の指名・会期の決定・諸般の報告・議案の提出及び説明
- 6月16日(月)・17日(火)・18日(水)  
本会議…一般質問
- 6月19日(木)  
本会議…議案に対する質疑、委員会付託  
委員会…予算決算常任委員会
- 6月20日(金)  
常任委員会…総務生活、文教福祉、建設経済  
分科会…総務生活、文教福祉、建設経済
- 6月26日(木)  
委員会…予算決算常任委員会
- 6月30日(月)  
本会議…委員長報告(質疑、討論、表決)

※この日程は変更されることがあります。  
本会議は原則午前10時に開会します。議会を傍聴する際には、日程をご確認の上、市役所本庁舎4階までお越しください。  
●問い合わせ…議会事務局 ☎24-5311

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の6月定例会においては、6月4日(水)午後4時まで提出してください。

### 市議会ホームページ・議会インターネット中継をご覧ください

市議会のホームページには、市議会の概要や本会議情報、議員名簿、会議録などを掲載していますので、ご覧ください。また、議会の様子を広く市民の皆さんにお知らせするため、本会議と予算決算常任委員会のインターネット中継を実施しています。インターネット中継では、生中継と録画配信(本会議のおおむね5日後)でご覧いただけます。右記のQRコードから市議会へアクセスしてみてください。

市議会へのご意見・ご感想もホームページから送信できるようになりました。ぜひお寄せください。



## 編集後記

今年2月、3月に発生しました、岩手県大船渡市、愛媛県今治市、岡山県岡山市での大規模山林火災で被災された方々に、一日も早い復旧とお見舞いを心より申し上げます。

あの東日本大震災から14年が経過し、新年度の令和7年度は第2期復興創生期間の最終年度となります。まだまだ復興半ばであり、山積する課題の解決に向け、市の執行部とともに議会としても取り組んで参ります。